

煌めく女性リーダー出前講座事業【富山県】

総事業費	374 千円
交付金額	187 千円

地域の実情と課題

本県における管理的職業従事者に占める女性の割合は9.2%(R2)であり、全国平均よりも低く、女性管理職比率の向上が課題となっている。

また、女性管理職のロールモデルが少なく、男性の意識とに大きな相違がみられ、女性意識を高めるためには、早い段階での意識付けが大切である。

事業の特徴

県内大学等の女子学生と県内企業の女性管理職等による座談会を実施し、身近なロールモデルとの交流を通して将来のキャリアについて考える機会を提供することで、職業生活におけるキャリア形成について早い段階からの意識付けを図る。

また、コロナ禍においてキャリア形成に悩む学生の不安払拭を図る。

事業の効果

企業で活躍している女性管理職の方を講師とし、学生に向けた講座を開催した。

⇒10月18日に富山大学で実施し、17名が参加

アンケートで「男性と女性のステレオタイプをこれから1人1人変えていくべき。」との回答があり、意識改革につながった。

目的・目標

項目	現状	R8(目標)
管理的職業従事者に占める女性の割合	7.6%(H27)	14.0%

連携団体

受講生の募集にあたっては、市町村をはじめ、県内大学、短大等と連携し、幅広く周知した。

今後の課題

コロナ禍においても継続して事業を実施していくために、オンラインを含めた様々な開催様式を検討していく。

事業の概要

●実施年月日

令和4年10月18日(火)

●場所

富山大学

◆第1部 ライフデザインに関する講座(30分～1時間程度)

結婚や出産、働き方など、現在の社会状況を学ぶことにより、将来のキャリア形成や働き方について考える講座。(第2部の座談会への導入として)

◆第2部 女性管理職等との本音トーク(1時間程度)

参加学生と県内企業の女性の管理職(3名)による座談会を実施し、身近なロールモデルの体験談に触れることにより、学生が、管理職等への昇進を含む自身のキャリアデザインや働くことの意義などを考える機会とする。

■学生からの感想

- ・大学の様々な授業や新聞などで、男性と女性のステレオタイプが昔から存在していることや、女性の活躍について課題があるということを知っていたが、今回お話を聞いて、男性と女性のステレオタイプをこれから1人1人変えていくべきであると改めて考えた。
- ・女性が管理職につくことについては、単にキャリアアップの経験として大事なことであるため推進すべきことであると考えていた。しかし、女性のキャリアアップを推進することは、働き方改革に取り組むなど会社内やチーム全体の価値観が変わり、会社も変わっていくという意義があるという話を聞いて、新たな考えを得ることができたと思った。

